

COURT HOUSE 自由が丘

設計 | 奥野公章建築設計室



CoretokyoWeb

建築主 コートテラス都立大学建設組合
 表彰建築士事務所 一級建築士事務所奥野公章建築設計室
 施工 株式会社河津建設
 所在地 東京都目黒区
 主要用途 共同住宅
 構造 RC造
 階数 地上3階、地下1階、塔屋1階
 敷地面積 667.96㎡
 建築面積 369.32㎡
 延床面積 1,177.42㎡
 竣工 2022年6月
 撮影 *中山 保寛、**吉田 誠/日経アーキテクチュア



「集まって住むこと」で得られる大きな中庭*。



南側外観*。



地階平面図



配置・1階平面図



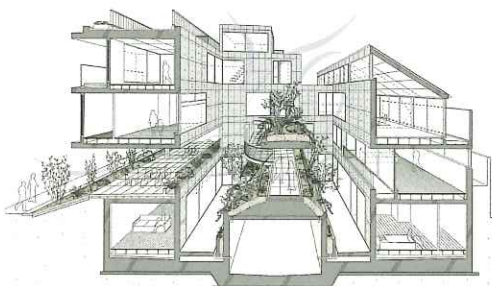
2階平面図



3階平面図



2階住戸I**。



断面パース



2階住戸D**。



1階住戸F**。

大きな中庭のある12戸のコーポラティブハウスである。建物は口の字配置の平面で東西に階段室を配置した2戸1の型式。ワンフロア4戸の構成とし各住戸は中庭を囲うL型のフラットプランを基本としている。中庭には東西をつなぐ通路を配置し屋根(ブリッジ)をかけ、そのブリッジを緑化し東西を貫く地下1階~2階を小山のような立体的な緑化を行なった。

約12m四方の中庭は十分な住棟間隔を獲得し、プライバシーの調整や十分な採光に役立っている。また駐輪場として利

用するピロティから南北の季節風を、階段室からは大通りに沿って発生する東西のビル風を中庭に取り込み植物の健全な育成や気化熱を利用した気温上昇を抑える効果を狙っている。建物中心の緑化による快適性、隣戸の距離感の調整による快適な居心地の形成、パッシブな環境の形成、避難のための空地の形成など、中庭は「住む」ために必要なすべての環境をつくり、また共通の中庭が住民の交流の場となることを意図している。

住居地域において「集まって住む」から

こそ得られる立体的なコートを中心とした12戸の集合住宅の提案である。

(奥野 公章)

奥野 公章(おくの・まさあき)



奥野公章建築設計室

1973年 山梨県生まれ/1996年 東洋大学工学部建築学科卒業/1998年 東洋大学大学院工学研究科建築学専攻博士前期課程修了後、スタジオ建築計画入所/2002年 建築家具設計ユニット ホワイトベース 共同設立/2003年 一級建築士事務所 奥野公章建築設計室 設立/現在、東洋大学、関東学院大学、武蔵野美術大学非常勤講師